

(再評価)

資料 3 - 9 - ①
関東地方整備局
事業評価監視委員会
(平成22年度第3回)

国道20号 竜王拡幅

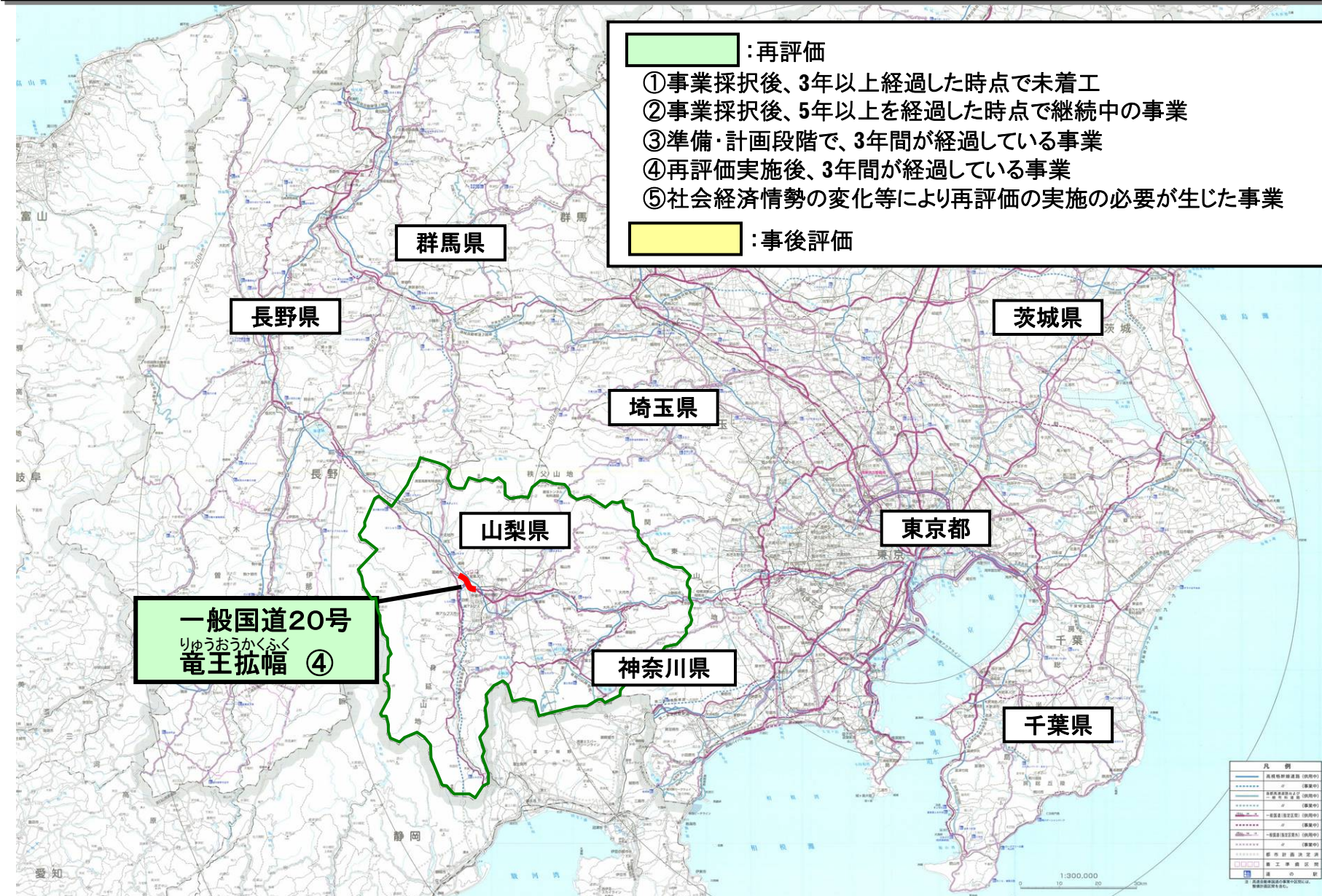
平成22年9月24日

国土交通省 関東地方整備局

目 次

1. 位置図	1
2. 事業の目的と計画の概要	2
3. 事業進捗の状況	3
4. 事業の必要性に関する視点	5
5. 費用対効果	9
6. 事業進捗の見込みの視点	11
7. 今後の対応方針(原案)	12

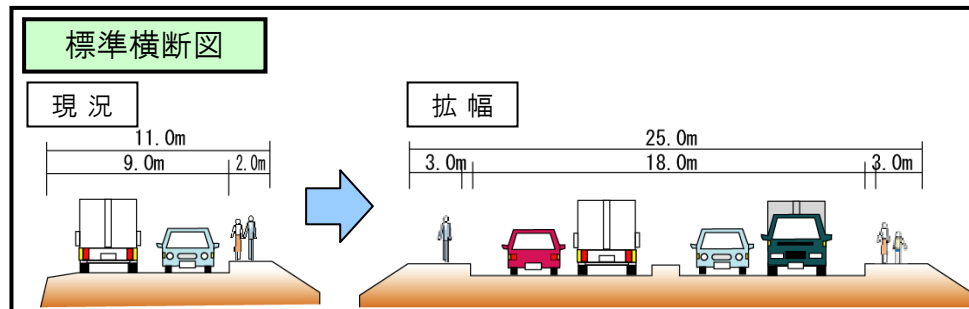
1. 位置図



2. 事業の目的と計画の概要

(1) 目的

- ・ 周辺の円滑な交通の確保
- ・ 周辺の交通安全性向上
- ・ 周辺地域とのネットワーク強化



(2) 計画の概要

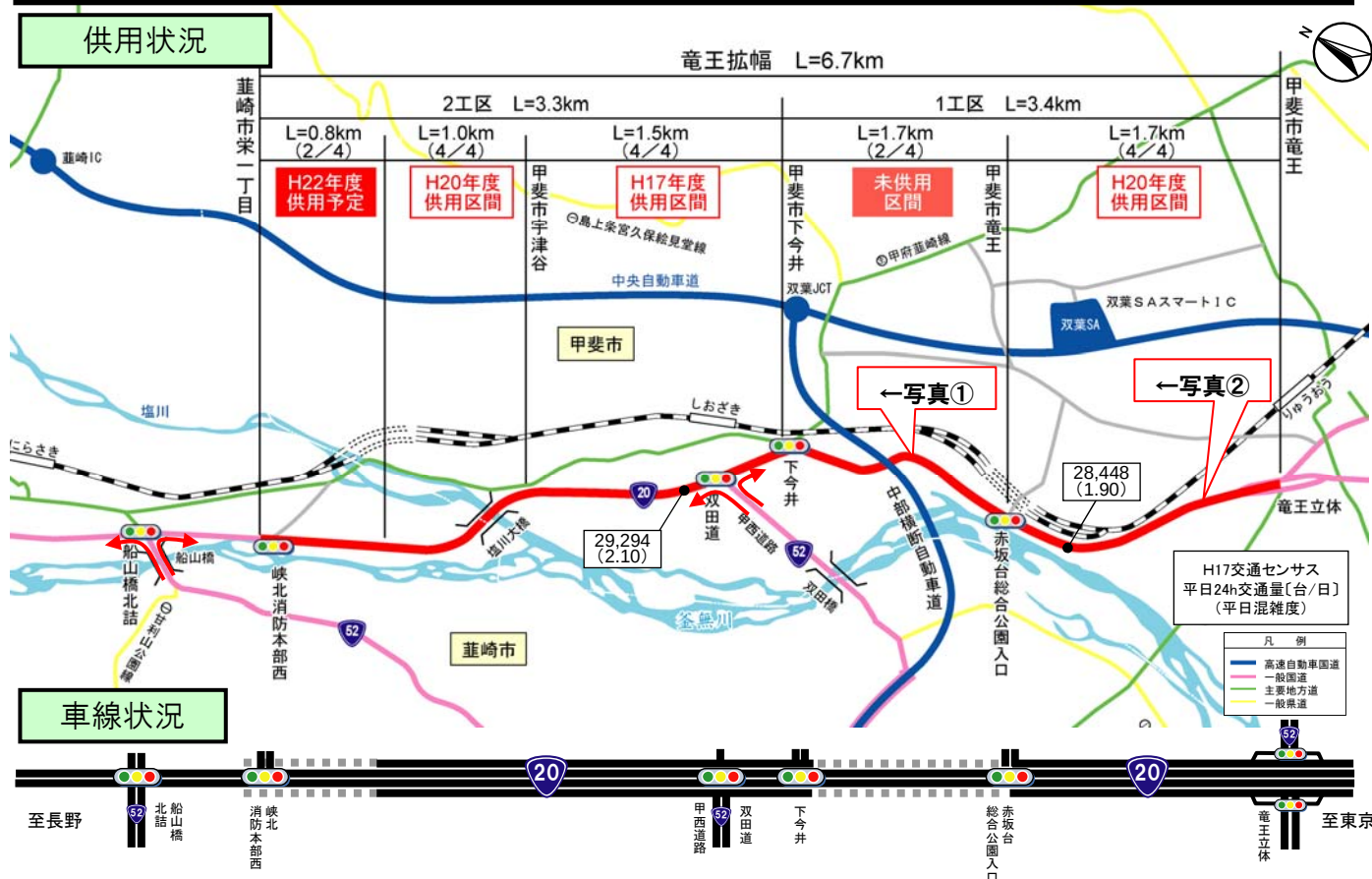
区 間	やまなしけんかいしりゅうおう 自) 山梨県甲斐市竜王 やまなしけんにはらさきししかえいっちょうめ 至) 山梨県韮崎市栄一丁目
計画延長	L=6.7km
幅 員	W=25.0m
構造規格	第3種第1級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
事業化	平成8年度
事業費	210億円
計画交通量	28,700 ~ 38,400台/日



3. 事業進捗の状況

事業の経緯

平成 5 年度：都市計画決定
 平成 8 年度：事業化
 平成 11 年度：用地買収着手・工事着手
 平成 17 年度：部分供用 [甲斐市下今井～甲斐市宇津谷] : L=1.5km
 平成 20 年度：部分供用 [甲斐市竜王～甲斐市竜王] : L=1.7km
 [甲斐市下今井～韮崎市栄2丁目] : L=1.0km
 平成 22 年度：部分供用予定 [韮崎市栄2丁目～韮崎市栄1丁目] : L=0.8km



写真①



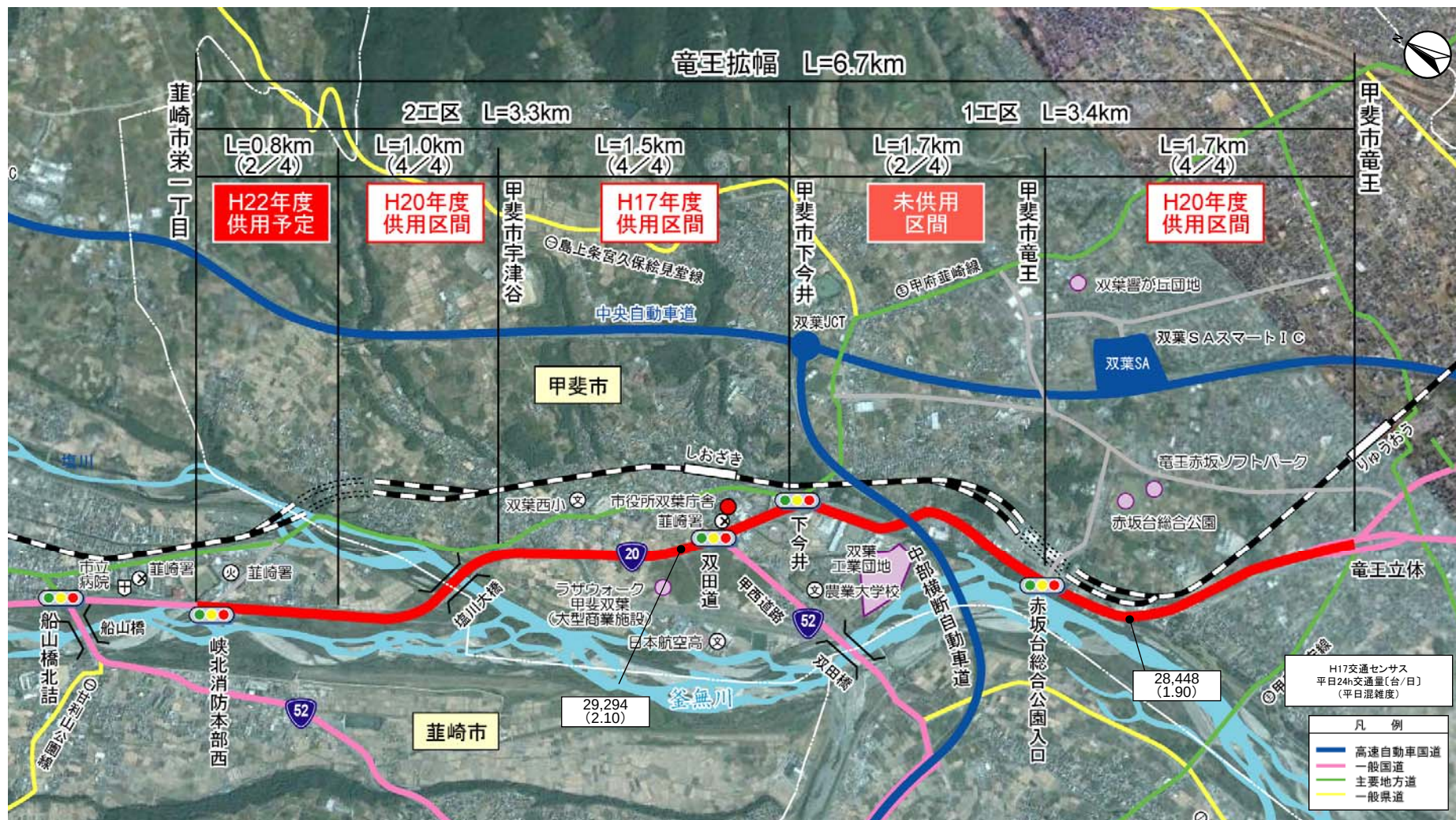
写真②: 拡幅前



写真②: 拡幅後

3. 事業進捗の状況

- ・竜王拡幅周辺には工業団地や商業地、学校、住宅地などが点在
- ・拡幅区間内で国道52号甲西道路が接続、北部には双葉SAスマートICが立地
- ・竜王拡幅はH8年度に事業化、H17年度、H20年度に部分供用を実施



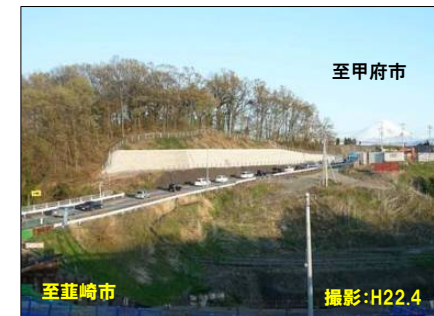
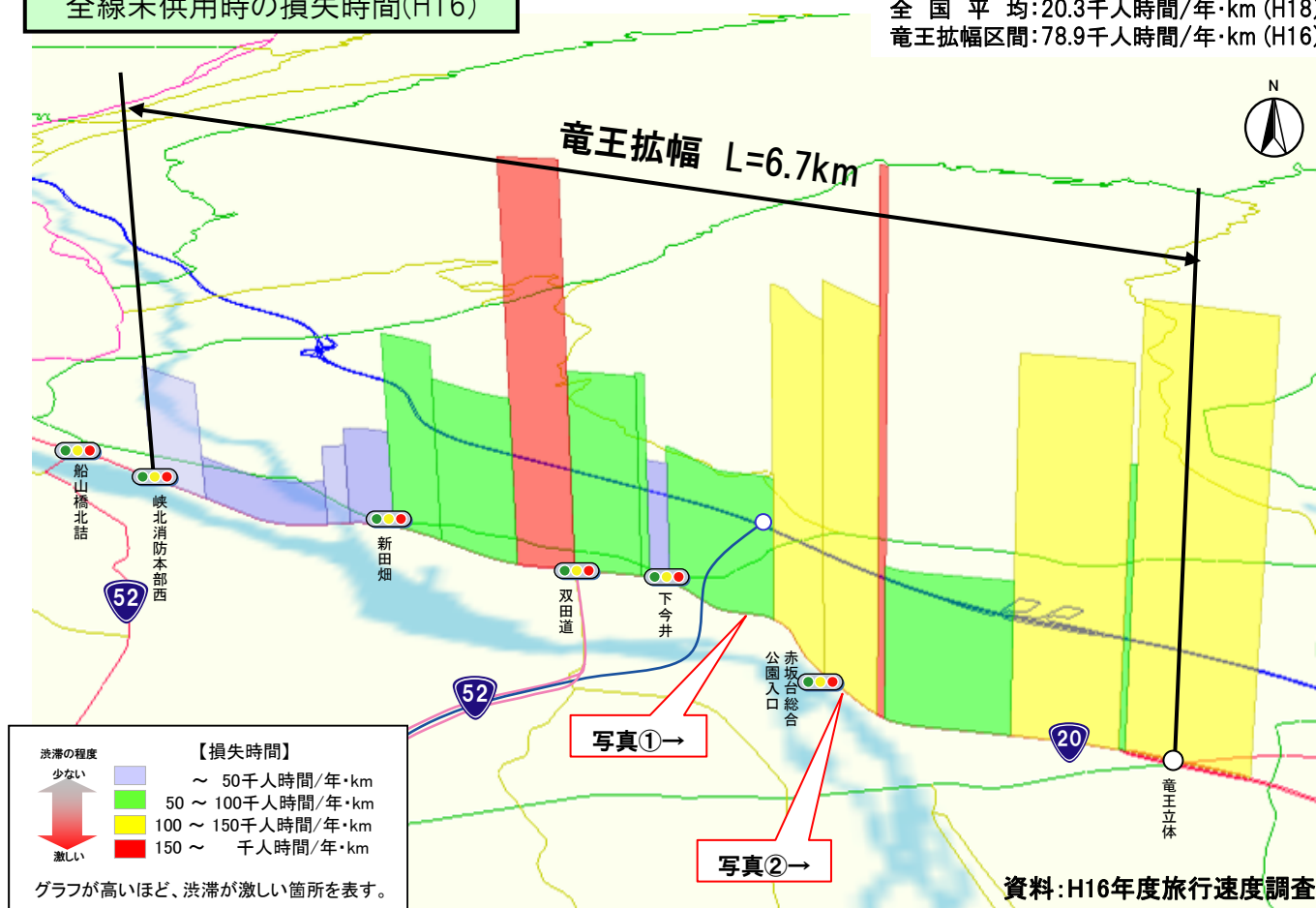
4. 事業の必要性に関する視点

(1) 交通渋滞の状況

- ・全線未供用時の竜王拡幅区間の損失時間は全国平均の約3.9倍
(竜王拡幅区間: 78.9千人時間/年・km、全国平均20.3千人時間/年・km)
- ・拡幅により混雑が緩和し、全区間を通してスムーズな通行が実現可能

全線未供用時の損失時間(H16)

全 国 平 均: 20.3千人時間/年・km (H18)
竜王拡幅区間: 78.9千人時間/年・km (H16)



写真①: 甲斐市下今井付近

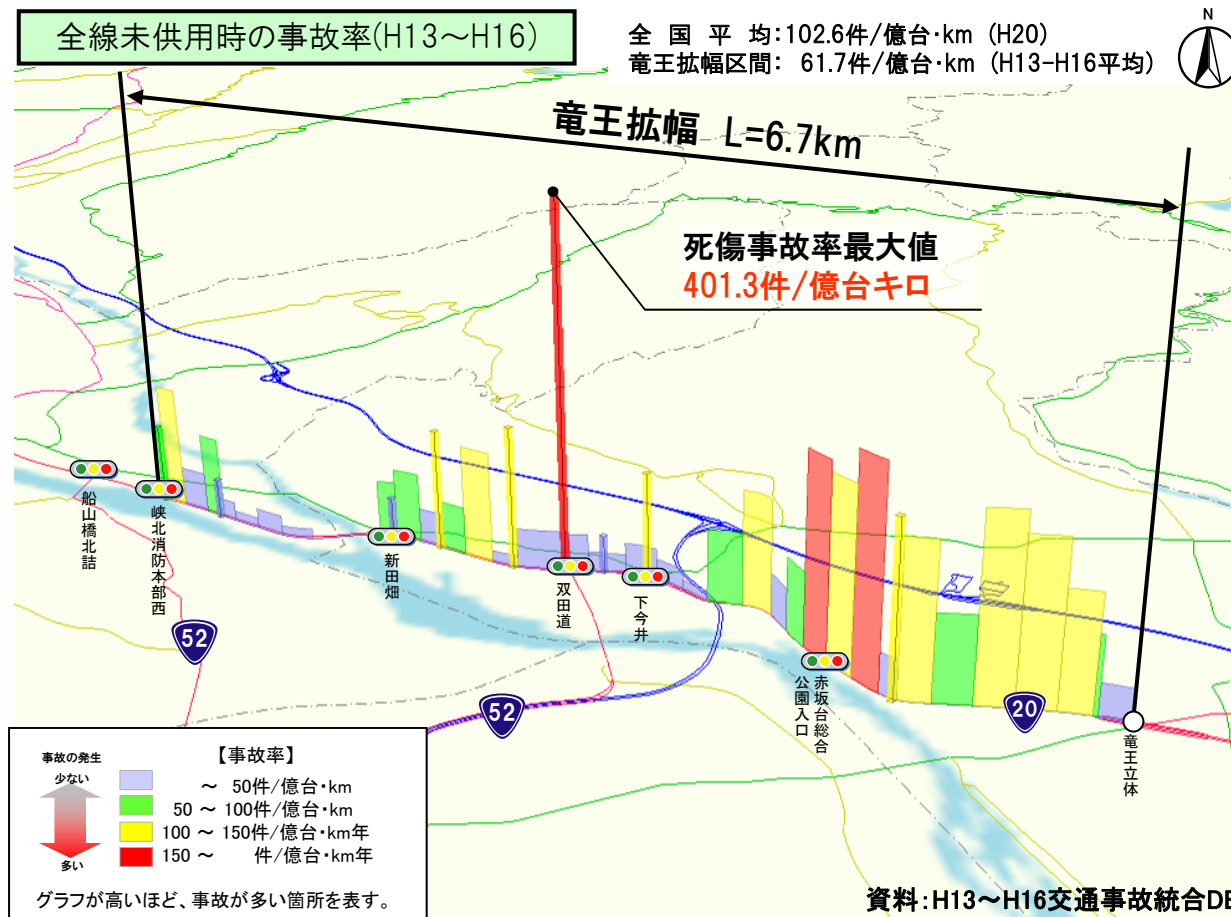


写真②: 赤坂台総合公園入口
交差点付近

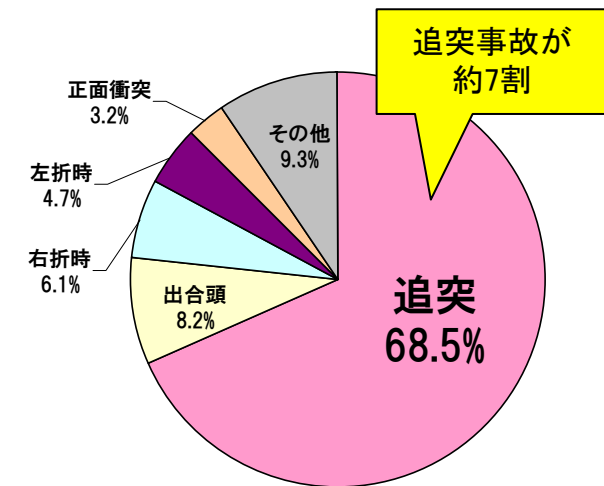
4. 事業の必要性に関する視点

(2) 交通事故の状況

- ・ 全線未供用時の竜王拡幅区間の死傷事故率は、61.7件/億台・kmと、全国平均(102.6件/億台・km)より低い、局所的に高い区間が存在
- ・ 事業区間の事故の内訳は、渋滞が一つの要因である追突事故が約7割を占める
- ・ 竜王拡幅の整備により渋滞が緩和し、事故の減少が見込まれる



事故の内訳(H13～H16)



竜王拡幅区間(L=6.7km、全線未供用時)の事故の内訳

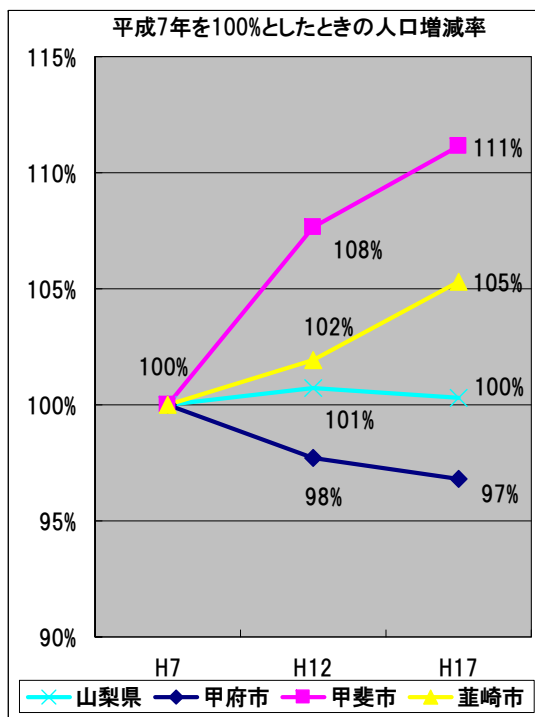
資料:H13～H16交通事故統合DB

4. 事業の必要性に関する視点

(3) 沿道人口の増加および商業施設の立地による交通量の増加

- ・ 竜王拡幅周辺地域では、甲斐市・韮崎市の都市化に伴い定住人口が増加
- ・ H21年4月に大型商業施設であるラザウォーク甲斐双葉が竜王拡幅区間沿いに開業
- ・ ラザウォーク甲斐双葉開業後、竜王拡幅周辺の休日交通量が10%～40%増加

竜王拡幅周辺の定住人口の変化



甲府市は最近10年間で定住人口が減少傾向にあるのに対し、周辺市町では増加

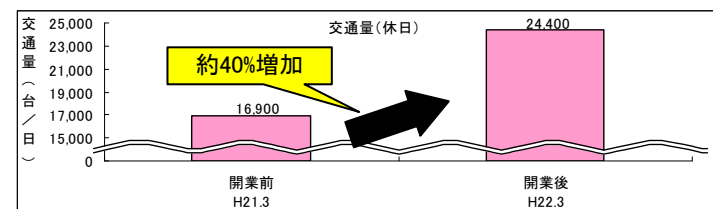
(資料: H7、H12、H17国勢調査を元に作成)

位置図

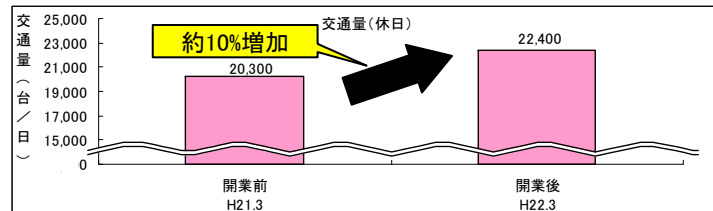


休日交通量の変化(12時間)

ラザウォーク甲斐双葉付近



赤坂台総合公園入口交差点付近



ラザウォーク甲斐双葉



国道20号からラザウォーク
甲斐双葉を望む

ラザウォーク甲斐双葉の店舗

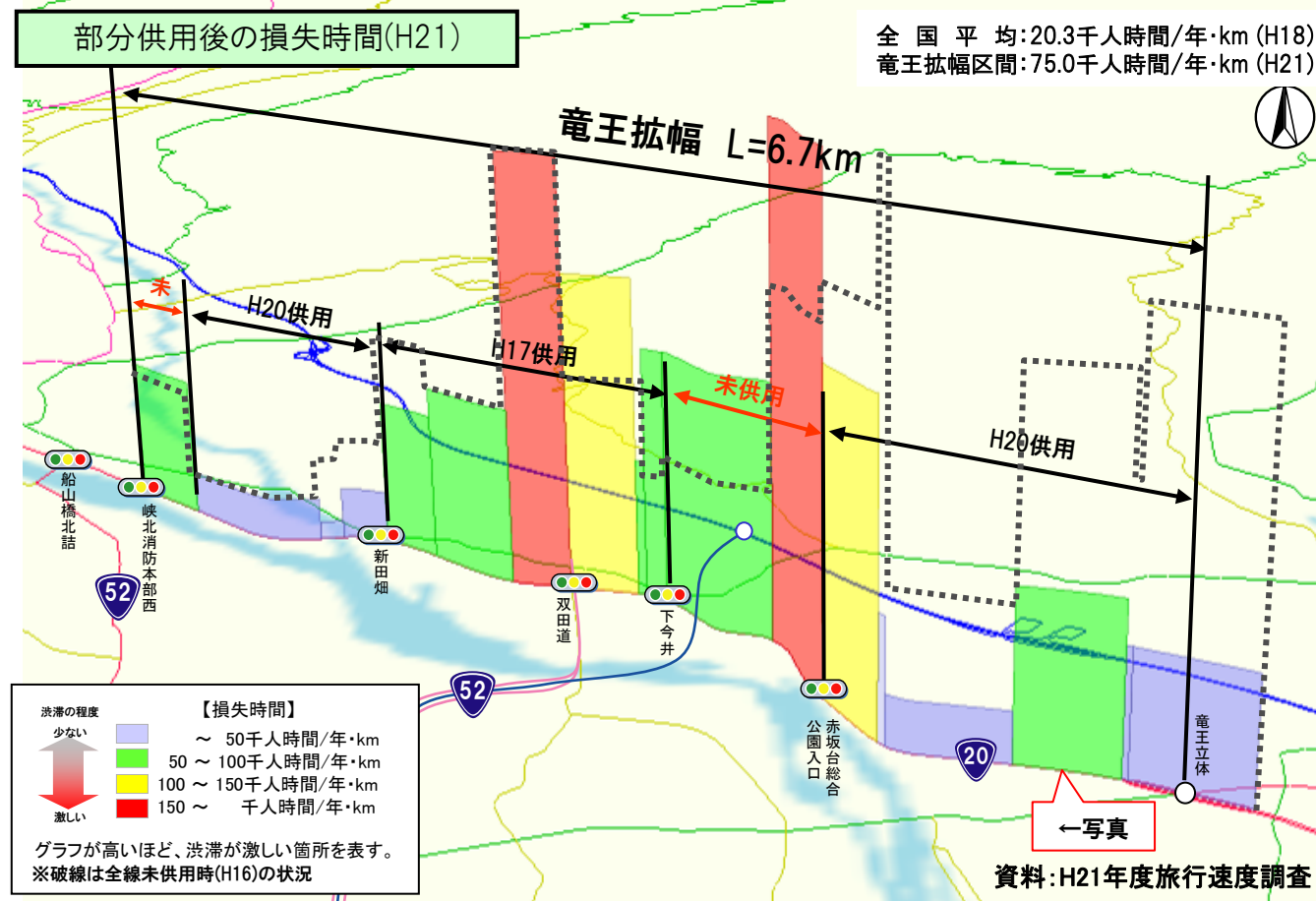
大型スーパー	1店舗
衣料品	36店舗
雑貨・書籍等	19店舗
サービス(クリーニング等)	22店舗
飲食店	26店舗
計	104店舗

平成22年4月現在

4. 事業の必要性に関する視点

(4) 部分供用による整備効果

- ・平成21年3月に、竜王立体～赤坂台総合公園入口交差点間(L=約1.7km)、新田畑交差点～韮崎市栄2丁目間(L=約1.0km)が4車線化
- ・部分供用後の竜王拡幅区間の損失時間は全国平均の約3.7倍
(竜王拡幅区間:75.0千人時間/年・km、全国平均20.3千人時間/年・km)
- ・部分供用区間の渋滞が緩和された一方、未供用区間付近の渋滞が課題となっている



拡幅前の様子



拡幅後の様子

5. 費用対効果(計算条件)

■総便益(B)

道路事業に関わる便益は、平成42年度の交通量を、整備の有無それぞれについて推計し、「費用便益分析マニュアル」に基づき3便益を計上した。

【3便益：走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益】

■総費用(C)

当該事業に関わる建設費と維持管理費を計上した。

■計算条件

・基準年次	:平成22年度	〔参考:前回評価(H17)〕
・供用開始年次	:平成26年度	:平成17年度
・分析対象期間	:供用後50年間	:平成21年度
・基礎データ	:平成17年度道路交通センサス	:供用後40年間
・交通量の推計時点	:平成42年度	:平成11年度道路交通センサス
・計画交通量	:28,700~38,400(台/日)	:平成42年度
・事業費	:210億円	:35,400(台/日)
・費用便益比(B/C)	:1.7	:210億円
		:2.5

5. 費用対効果

■事業全体

便益(B)	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	371億円	33億円	22億円	425億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	238億円		11億円	250億円	

■残事業

便益(B)	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	86億円	5.7億円	3.4億円	95億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	15億円		2.8億円	17億円	

注1)便益・費用については、基準年における現在価値化後の値である。

注2)費用及び便益額は整数止めとする。

注3)費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

基準年:平成22年度

6. 事業進捗の見込みの視点

- 平成22年度に、部分供用を予定(韮崎市栄二丁目～韮崎市栄一丁目:約0.8km)
- 用地の取得は約94%完了(平成22年8月末現在、面積ベース)と前回再評価時(平成17年度)の約72%から約2割の進捗となっている
- なお、用地残件は、2件であり今後も任意による取得を努めていく
- 今後も、用地買収・工事を実施し、早期の全線完成供用を目指す

○暫定供用・未供用区間に係る工程表

			事業化	工事着手	用地着手		工事着手		用地着手	部分供用			部分供用		部分供用	
年度			H8	...	H11	...	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23～
1 工 区	甲斐市竜王 (L=1.7km)	用地								95%			100%			
		工事										供用				
	甲斐市竜王～ 甲斐市下今井 (L=1.7km)	用地								45%					88%	
		工事														
2 工 区	甲斐市下今井～ 韮崎市栄一丁目 (L=3.3km)	工事								一部供用 (L=1.5km)			一部供用 (L=1.0km)		供用予定 (L=0.8km)	

※①1工区の中心市街地に近い甲府方面側(甲斐市竜王)の拡幅、②2工区の甲西道路(H17.9部分供用)との接続箇所付近の拡幅について、先行して実施

7. 今後の対応方針(原案)

(1) 事業の必要性等に関する視点

- ・ 全線未供用時の竜王拡幅区間の損失時間は全国平均の約3.9倍(竜王拡幅区間:78.9千人時間/年・km、全国平均20.3千人時間/年・km)
- ・ 死傷事故率は、61.7件/億台・kmと、全国平均(102.6件/億台・km)より低いが、局所的に高い区間が存在
- ・ 部分供用区間の渋滞が緩和された(損失時間:全国平均の約3.9倍から約3.7倍に減少)が、未供用区間付近の渋滞が課題となっている。

(2) 事業進捗の見込みの視点

- ・ 平成22年度に、部分供用を予定(韭崎市栄二丁目～韭崎市栄一丁目:約0.8km)
- ・ 用地の取得は約94%完了(平成22年8月末現在、面積ベース)と平成17年度の約72%から約2割の進捗となっている。用地残件は、2件であり今後も任意による取得を努めていく。
- ・ 今後も、用地買収・工事を実施し、早期の全線完成供用を目指す。

(3) 都道府県・政令市からの意見

- ・ 山梨県知事の見解
一般国道20号は山梨県を東西に横断する重要な幹線道路であり、竜王拡幅は、甲斐市から韭崎市にかけての慢性的な交通渋滞の緩和や交通安全の確保が図られ、周辺地域とのネットワーク強化に寄与することから、早期完成をお願いします。

(4) 対応方針(原案)

- ・ 事業継続
- ・ 残区間における必要性、重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である